

定時制閉課程記念式典にあたり、生徒代表として一言述べさせていただきます。

昭和23年の創立以来、58年という期間は、私には全く想像もできない長い年月です。私がこの世に生まれる前から、いや私の親すらも生まれていない、そんな昔から小出高校定時制が続いてきたことを知った時、この歴史は本当にすごいことだと思いました。

これまで、卒業生講話の時間に、多くの先輩方が定時制の苦勞を乗り越えて卒業し社会で活躍されている話を聞くことは、私たち生徒の誇りでした。残念ながら、伝統ある小出高校定時制も今年度を最後に閉課程となりますが、これまで先輩たちが築かれた「働きながら学ぶ伝統」を守り、定時制最後の生徒として、一日一日を大切に卒業まで頑張っていくつもりです。

私たちの高校生活も、あと数ヶ月を残すだけとなりました。今、これまで支えていただいた多くの方々への感謝の気持ちで一杯です。私たちを理解し応援してくださった雇用主やETAの皆様、勉強以外にも生きる上で大切なことを教えてくださった数多くの先生方、そして最後まで信じて見守ってくれた家族、全ての方々に心から感謝します。

やがて来る春の日に、私たち定時制生徒全員は、この学校を巣立ちます。そして、新しく始まる人生の1ページを、力強く逞しく歩み始めることでしょう。

最後に、小出高校定時制、今まで本当にありがとうございました。

平成18年10月7日

小出高校 定時制生徒会長 佐藤翔一